

平成29年度 第2回  
高知市自立支援協議会 説明資料

平成29年8月23日（水）  
総合あんしんセンター  
高知市健康福祉部 障がい福祉課

# 次 第

- 1 開会
- 2 異動等に伴う委員紹介
- 3 報告・協議事項
  - ①基幹相談支援センター設置に向けた協議状況報告
  - ②相談支援検討会報告
  - ③委員活動報告－高知市社会福祉協議会 入木委員
  - ④障害者相談センター西部からの事例報告 ※個人情報のため非公開
- 4 閉会

## 3 報告・協議事項

### ②相談支援検討会報告

# 相談支援検討会の機能

## ○仕組みづくり

- ・事例から出てきた課題を整理する方法、自立支援協議会を通じて解決方法、手立てを検討する取り組みを作る。

## ○課題の整理・明確化

- ・各ブロック勉強会（事例検討会）から出てきた困り事を課題として整理する。

# 相談支援検討会委員

平成29年4月から

	氏名	所属	
1	田村 孝子	相談支援センターもえぎ	アドバイザー (県自立支援協議会委員)
2	中森 勇人	あじさい園障害児者相談支援事業所	アドバイザー (県自立支援協議会委員)
<b>3</b>	<b>山崎 大輔</b>	<b>障害者相談センター北部</b>	<b>市委託相談センター代表</b>
4	土門 義和	ライフ・サポートあおぞら	西部圏域代表
5	高橋 七瀬	障害者福祉サービスセンターウエーブ相談支援事業所	北部圏域代表
<b>6</b>	<b>後藤 佳代</b>	<b>東部障害者福祉センター「とも」</b>	<b>東部圏域代表</b>
7	大野 花	指定相談支援事業所すずらん	南部圏域代表
8	井上 奈美子	ピアサポーター	自立支援協議会代表
9	森下 昭仁	ピアサポーター	自立支援協議会代表

# 相談支援検討会の機能

## ○課題の整理・明確化

- ・各ブロック勉強会（事例検討会）から出てきた困り事を課題として整理する。

# 平成29年度相談支援検討会

## ○現状

- ・各ブロック勉強会（事例検討会）から困り事があまり出てこない
- ・個別の事例から地域課題として課題を整理・明確化するには至らない



## ○地域課題の整理・明確化に取り組むための方針

- ・各ブロック勉強会（事例検討会）通じ、相談支援専門員の支援力アップを支援する。

面接技術を向上させる

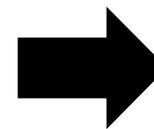
# ブロック勉強会について

## ○ブロック勉強会の再編

- ・南部ブロック
- ・NEWブロック（東部・北部・西部）

## ○面接技術の向上

- ・支援者指導のプランになっていないか？
- ・本人のニーズを引き出す面接が支援の基本
- ・本人の思いがプランに反映できるよう



スーパービジョン  
に取り組む

# 全体研修会について

- 平成29年6月9日（金） 13：30～16：30
- 内容：グループホームで生活している当事者から話を聞く  
（当事者に研修参加者が質問をして本人のことを聞き取る）  
相手のニーズを聞き取り、計画を立てる。
- 相談支援専門員 15名参加（11機関）

今ある福祉サービスや制度では解決できない課題を分析し、課題解決に向けた取り組みを話し合う場

自立支援協議会

共通で出てきた課題を報告

共通課題

相談支援検討会（課題の集約・整理）

個々のケースから見た課題を報告

課題

課題

課題

課題

NEWブロック（東・西・北）

東部

西部

北部

南部

ブロック勉強会（事例検討）

# 相談支援検討会の機能

## ○仕組みづくり

- ・事例から出てきた課題を整理する方法、自立支援協議会を通じて解決方法、手立てを検討する取り組みを作る。

# 1 8歳移行期問題

- 根拠：制度の切り替え、支援者の変更、環境の変化などにより、本人への支援をより丁寧につなげていかないといけない時期である
- 目的、問題意識：
  - ①支援がつながることで、本人の状態が安定することができる
  - ②学校との連携がうまくいっていないために、本人に不利益になっているのではないか？

# 事例紹介①

高等部を卒業してから、初めて障害福祉サービスを利用することになる



生活介護を利用するために障害支援区分が必要



医師意見書が必要になるため、精神科受診を勧める



制度の理解ができておらず、精神科受診がうまくできなかった  
(サービスがスムーズに利用できなかった)

## 事例紹介②

高等部を卒業して、一般就労する



すぐに就労先を解雇になる



実は、家庭内に様々な問題があったことが分かる



障害者相談センター等が関わって、障害福祉サービスの利用に至る

## 事例紹介③

高等部 1 年の時から実習をし、評価・評判もよかった



卒業後、障害福祉サービス（就労・グループホーム）利用開始



半年後、生活リズムが乱れる

（新しい環境での見立てができていなかった）



特定相談支援、事業所、家族で支援を立て直し中

# 課題と思うこと

- ・入所施設、短期入所施設が利用できなくなる → ①
- ・保護者、学校が福祉サービスを知らない → ②
- ・進路が保護者と学校ですでに決まっている（プランは後から）
- ・卒業した後に、本人のことを知っている先生が異動したら、情報が分からない
- ・障害児相談支援事業所からの引継ぎがうまくいかない
- ・18歳以降に診察してくれる精神科（発達障害・知的障害を診てくれる）がない
- ・高校3年の1～3月に連絡があるケースは対応できない
- ・事業所の受け入れ決定が3月末まで確定できず、特定相談がやきもきする

③

④

# 課題のまとめ

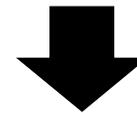
①施設が足りない→18歳に限らず施設がない

②福祉サービスを知らない

③連携ができていない

④時間が足りない

支援がうまくつながっていないために  
起こっている問題なのではないか？



障害のある当事者・保護者の  
生活が不安定になる

# 1 8歳移行期問題に関する検討（案）

対象	<ul style="list-style-type: none"><li>○本人、保護者</li><li>○相談支援専門員、事業所（就労、生活介護、GH）</li><li>○学校（進路相談担当）</li><li>○放課後等デイサービス事業所</li></ul>
方法	<ul style="list-style-type: none"><li>・意見交換会</li><li>・アンケート</li></ul>
確認事項	<ul style="list-style-type: none"><li>○福祉サービス（施設・内容・周知度）</li><li>○学校（進路・懇談会・情報共有）</li><li>○意識</li><li>○連携（相談支援事業所・学校・保護者・事業所・関わりのタイミング）</li><li>○医療</li></ul>

## 3 報告・協議事項

③委員活動報告－高知市社会福祉協議会 入木委員

H29.8.23(水)

自立支援協議会 活動報告

# 地域福祉コーディネーターについて

社会福祉法人 高知市社会福祉協議会  
入木 涼子



## 本日 お伝えしたいこと



- 地域共生社会とは
- 地域福祉活動推進計画と支え合いの仕組みづくり
- 地域福祉コーディネーターの役割と活動
- 障害者相談支援事業所、自立支援協議会との連携



# 地域共生社会とは

## 「地域共生社会」の実現に向けて（当面の改革工程）【概要】

平成29年2月7日 厚生労働省「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部決定

### 「地域共生社会」とは

◆制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会

### 改革の背景と方向性

#### 公的支援の『縦割り』から『丸ごと』への転換

- 個人や世帯の抱える複合的課題などへの包括的な支援
- 人口減少に対応する、分野をまたがる総合的サービス提供の支援

#### 『我が事』『丸ごと』の地域づくりを育む仕組みへの転換

- 住民の主体的な支え合いを育み、暮らしに安心感と生きがいを生み出す
- 地域の資源を活かし、暮らしと地域社会に豊かさを生み出す

### 改革の骨格

#### 地域課題の解決力の強化

- 住民相互の支え合い機能を強化、公的支援と協働して、地域課題の解決を試みる体制を整備【29年制度改革】
- 複合課題に対応する包括的相談支援体制の構築【29年制度改革】
- 地域福祉計画の充実【29年制度改革】

#### 地域を基盤とする包括的支援の強化

- 地域包括ケアの理念の普遍化：高齢者だけでなく、生活上の困難を抱える方への包括的支援体制の構築
- 共生型サービスの創設【29年制度改革・30年報酬改定】
- 市町村の地域保健の推進機能の強化、保健福祉横断的な包括的支援のあり方の検討

### 「地域共生社会」の実現

- 多様な担い手の育成・参画、民間資金活用の推進、多様な就労・社会参加の場の整備
- 社会保障の枠を超え、地域資源（耕作放棄地、環境保全など）と丸ごとつながることで地域に「循環」を生み出す、先進的取組を支援

- 対人支援を行う専門資格に共通の基礎課程創設の検討
- 福祉系国家資格を持つ場合の保育士養成課程・試験科目の一部免除の検討

#### 地域丸ごとのつながりの強化

#### 専門人材の機能強化・最大活用

### 実現に向けた工程

平成29(2017)年：介護保険法・社会福祉法等の改正

- ◆市町村による包括的支援体制の制度化
- ◆共生型サービスの創設 など

平成30(2018)年：

- ◆介護・障害報酬改定：共生型サービスの評価 など
- ◆生活困窮者自立支援制度の強化

平成31(2019)年以降：

更なる制度見直し

2020年代初頭：  
全面展開

#### 【検討課題】

- ①地域課題の解決力強化のための体制の全国的な整備のための支援方策（制度のあり方を含む）
- ②保健福祉行政横断的な包括的支援のあり方
- ③共通基礎課程の創設 等



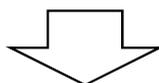
高知市でも

◆社会情勢の変化や少子高齢化・核家族化の進行等により、  
**住民同士のつながりが希薄化**

◆住民のニーズの複雑・多様化（**複数の課題や困りごと**）

◆深刻な**経済不況**……等

住み慣れた地域で



住民誰もが安心して暮らしていくために…



住民一人ひとりが主体的に地域福祉活動に参加し、  
住民同士の支え合い・助け合いの  
仕組みづくりを行っていこう

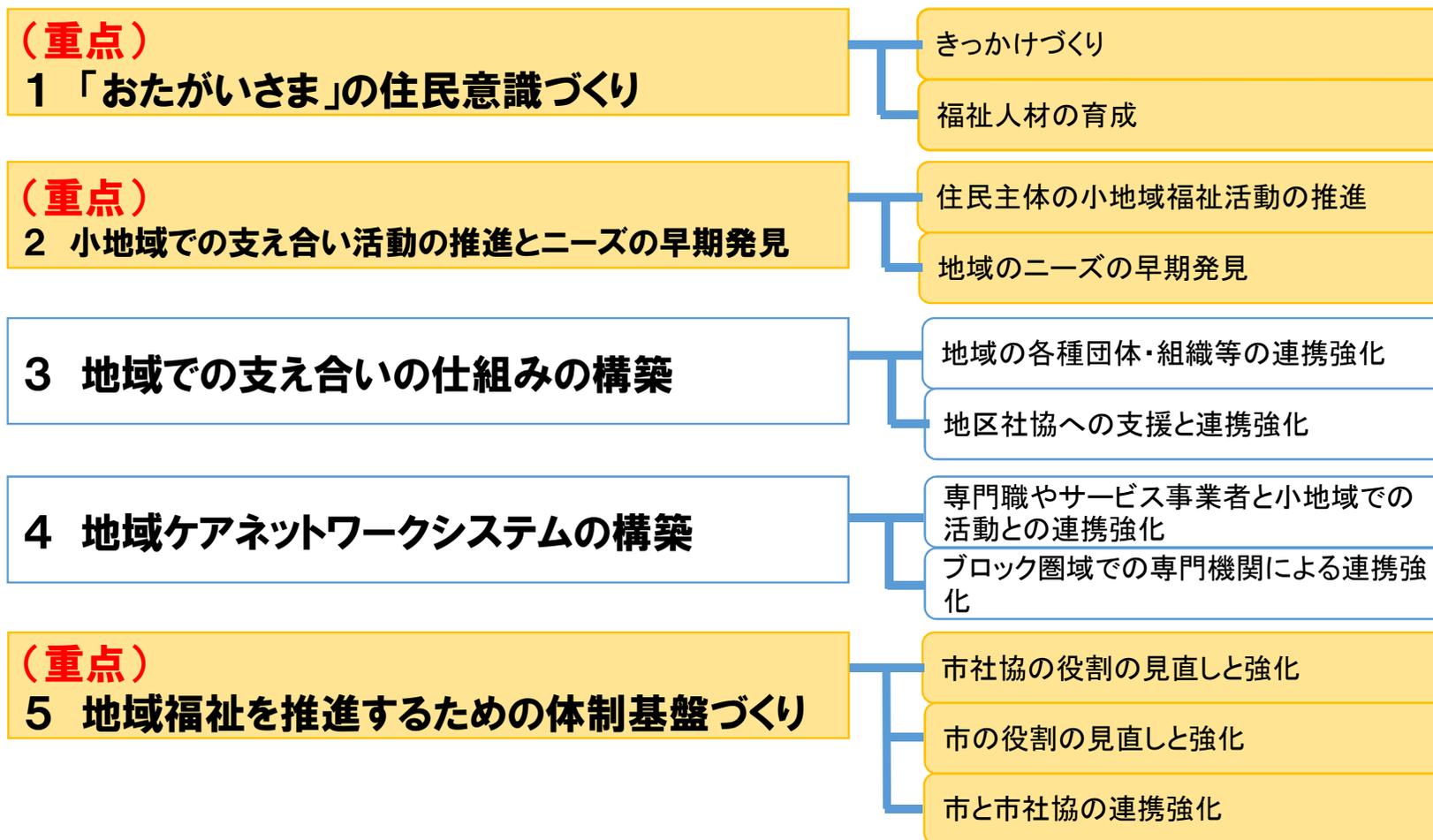


住民主体の助け合い・支え合いの活動の仕組みづくりを支援する計画  
『高知市地域福祉活動推進計画（平成25～30年）』を策定

# 高知市地域福祉活動推進計画

## 基本理念

### 「誰もが安心して暮らせる支え合いのあるまちづくり」



## 意識の壁

私のためにみんなに  
迷惑をかけて申し訳ない



他人の世話にはなりたくない

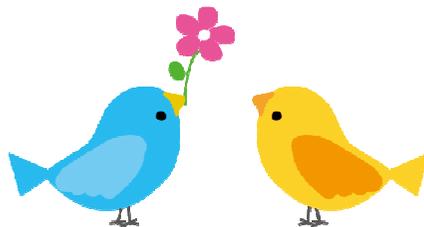
サービスを使うのは  
世間体が悪い

困った時に「助けて」と言えない状況が続くと...

困りごとはより深刻になっていき、解決が大変になる

<地域福祉に関するアンケート調査>

約9割の方が  
住民同士の  
助け合いの  
必要性を感じている



## おたがいさま

住民自身が「おたがいさまの  
意識をもち、困った時に「助けて」  
と言えるような関係づくり



# (社福)高知市社会福祉協議会

地域のさまざまな生活課題に真摯に向けあい「誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現」に向けて取り組んでいます

## ①高知市保健福祉センター

塩田町18番10号 (☎823-9515)

- 総務調整課
- 在宅生活応援課  
居宅介護支援事業所・ヘルパーステーション  
デイサービスふれあい

## ②ニッセイ高知ビル

本町4丁目2番40号 ニッセイ高知ビル3階 (☎856-5539)

- 地域協働課  
地域福祉の推進、共同募金配分事業、ボランティアセンターなど
- 共に生きる課  
成年後見サポートセンター、障害者相談支援センター、生活福祉資金貸付係
- 高知市生活支援相談センター (☎856-5529)  
生活困窮者支援

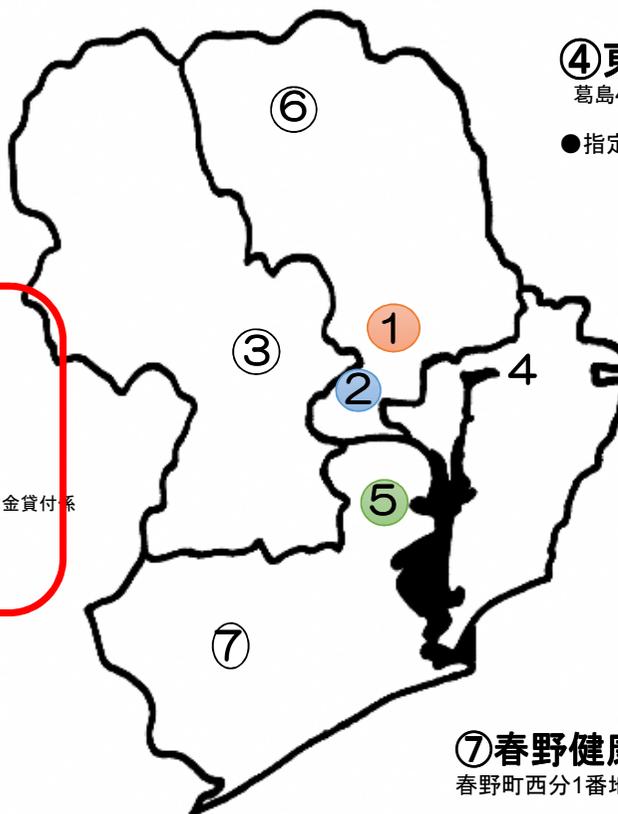
## ③障害者福祉センター

旭町2丁目21番地6 (☎873-7717)

- 指定管理業務(※)
- 就労継続支援B型事業所きずな

### ※指定管理業務

貸館業務・窓口業務(身体障害者手帳・療育手帳の申請受付及び交付等)



## ④東部健康福祉センター

葛島4丁目3番3号 (☎882-9380)

- 指定管理業務(※)

## ⑤南部健康福祉センター

百石町3丁目1番30号 (☎878-9060)

- 指定管理業務(※)
- 南部障害者福祉センター

## ⑥土佐山健康福祉センター

土佐山桑尾1842番2 (☎895-2111)

- 指定管理業務(※)
- 居宅介護支援事業所
- デイサービスセンター
- 生きがいデイサービス

## ⑦春野健康福祉センター(あじさい会館)

春野町西分1番地1号 (☎894-5977)

- 指定管理業務(※)
- 通所介護事業所
- 訪問介護事業所
- 居宅介護支援事業所

# 地域協働課

## 支え合いのあるまちづくりの推進



### 地域を支える担い手の拡大

見守りやサロンのお手伝いなど、「できる人が、できる時に、できることをする」をキーワードに、担い手の拡大に努めます。



### 子どもが“ど真ん中”の地域づくり

子どもを中心としたサロンの拡大や活動を重点的に支援していきます。

### 「おたがいさま」の住民意識づくり

身近なお付き合いの中であいさつをしたり、体調を気遣いあったりする気軽なボランティア『気くぱりさん』の目印である「ほおっちょけんバッジ」の普及に努めます。



ほおっちょけんバッジ  
100円のご寄付で1個進呈

# 地域協働課の体制について

— 平成29年度の予算事業 —

## 1 地域福祉活動推進計画事業

住民の主体的な支え合いを育むため、地域にある資源を活かし、適切な情報提供や共有、交換が行われるよう、高知市や関係機関との連携を図り、様々な活動を支援する。

(地域福祉活動推進計画)

### ◎地域福祉活動推進のための体制基盤づくり

#### ■住民主体の小地域福祉活動の推進

- 地域支え合い会議の開催の支援 (H29重点)
- 集いの場の拡大及び継続
- 小地域でのつながりづくり
- 救急医療情報キットの導入地区支援
- 地域福祉活動に関する助成金活用の支援



#### ■地区社協をはじめとする地域団体支援との相互理解の促進

- こどもをキーワードとした活動支援や体制づくり (H29重点)
- テーマ型活動への支援、情報交換の場づくり
- 地区社連の事務局機能の強化
- 「地域づくり」を目的とした各種団体や施策との協働

#### ■圏域に応じたコーディネート業務

- 職員の資質向上と体制強化
- 情報発信、共有、分析
- 圏域やテーマに応じたチーム体制 (H29重点)



### ◎地域福祉活動を担う人材の確保と育成

- 既存の活動者同士が繋がることのできる機会の創出
- 福祉委員制度導入地区の拡大
- 「ほおっちょけん学習」の継続と新規開催にむけての情報提供
- 「出前講座」の情報提供と実施支援
- 「ほおっちょけんバッジ」の普及
- 「気づきばりさん」登録の推進を強化

## 2 ボランティアセンター事業

ボランティア情報の収集、広報、啓発、相談、コーディネート業務を行い、ボランティアが安心して活動に取り組めるようにボランティア活動保険の加入手続きを実施する

#### ■ボランティア登録者情報の可視化・共有化 (H29重点)

- ボランティア個人の現況届、受入事業所での活動内容の報告
- 活動へのつながりシステムの構築

#### ■ボランティア情報の収集、発信、共有の強化

- ボランティア団体との連絡協議会での情報収集、発信力の強化
- ボランティア情報の定期発信
- 活動者や受け入れ事業所との交流の場づくり

## 3 こうち笑顔マイレージ

高知市内在住65歳以上の住民が、介護支援ボランティア活動や健康づくり活動に取り組むことで積極的に介護予防及び地域に貢献することを奨励、支援する

(介護予防活動支援推進事業)

#### ■こうち笑顔マイレージ登録者への支援

- 登録者へ気づきばりさんの情報提供
- 介護予防及び地域貢献する人材の育成につなげる



#### ■ボランティア活動者の実態把握

- 登録者の現状把握
- 新たな活動へつなぐための適切な情報発信

## 4 共同募金

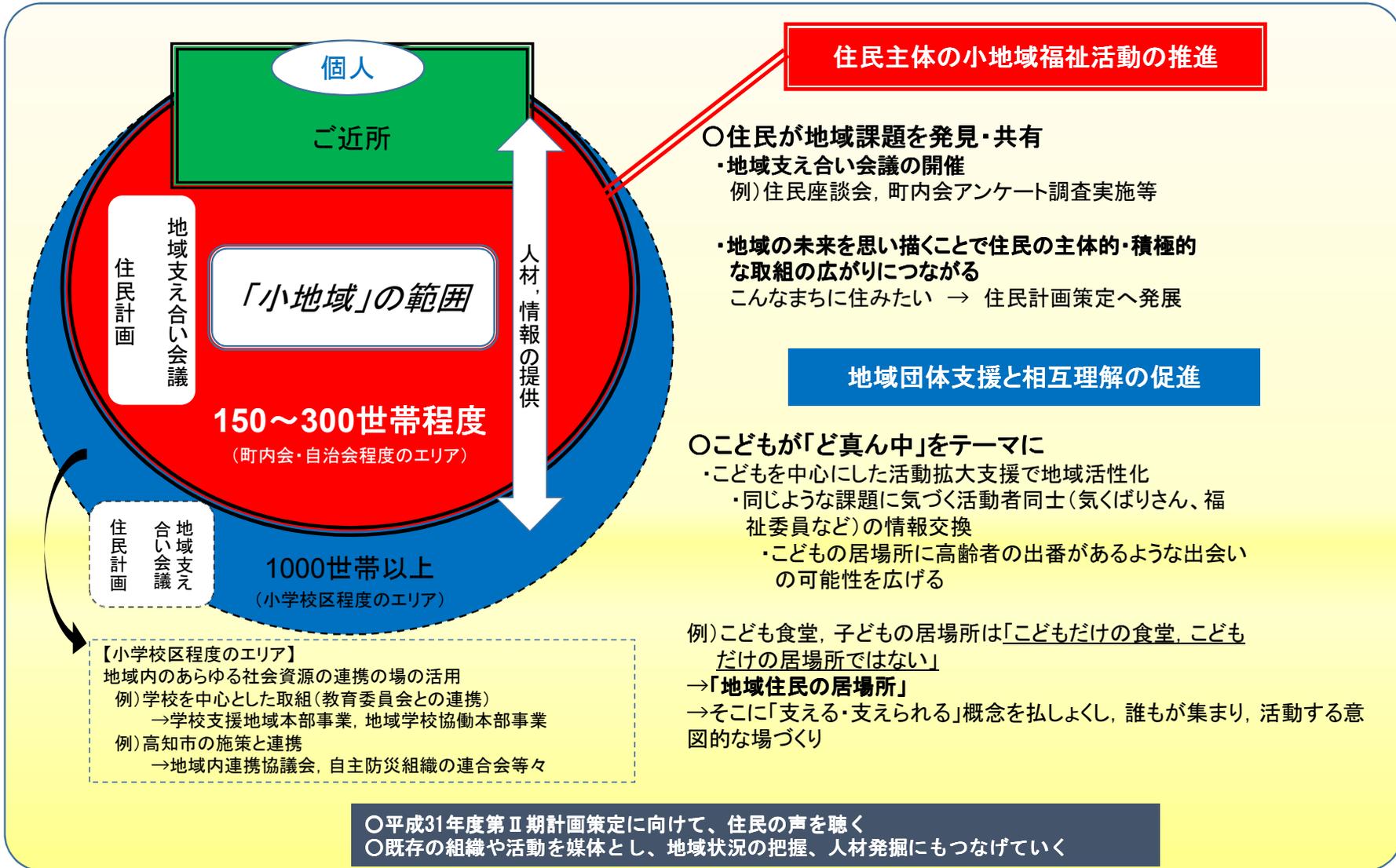
高知県共同募金会高知市支会事務局として、地域福祉活動である募金活動とそれに伴う事務手続きを行い、高知市内県内の地域福祉活動の推進を行う

#### ■福祉教育として、学生と共に学び「地域福祉の推進」と「寄付文化の醸成」

#### ■地域課題の解決に繋がる配分(助成)の在り方等の検討

# 〈重点課題〉

## 1 地域福祉活動推進のための体制基盤づくり



# 〈重点課題〉

## 2 地域福祉活動を担う人材の確保と育成

地域福祉活動推進計画 | ボランティアセンター | こうち笑顔マイレージ | 共同募金

「おたがいさまの住民意識づくり」につながる人材の確保と育成を一体的に取り組む

共に学ぶ、育む、ひろがる

ほおっちょけん学習の取組み強化

- ・地域住民や地域にいる専門職等と一緒に取り組む
- ・年齢や理解度に応じたメニュー化

成長の段階に応じて「ふくし」を学ぶ、豊かに生きることに触れる

出前講座の積極的な実施

- ・「あなたに届け隊・出前講座」(高知市)との協働また市社協各事業所「出前講座」の実施

小地域福祉活動へ

活動者同士がつながる

情報交換の場づくり

- ・地区社連テーマ型情報交換会
- ・ボランティア活動連絡会(28年度~)
- ・社会福祉法人(市内)意見交換会(29年度~)

民生委員児童委員, 主任児童委員

町内会・自治会

福祉委員

気くばりさん

ボランティア団体

地域高齢者支援センター, 地域の事業所職員等

地域貢献に積極的な社会福祉法人

・福祉委員制度は導入地区, 委員数拡大

・気くばりさん登録の推進

● ボランティア登録者同士の情報可視化・共有化から活動の「きっかけづくり」・「活性化」へ

- ・アンケート調査により, こうち笑顔マイレージボランティア活動登録者, 福祉委員, 気くばりさん等の活動実態を把握し, 分析・見える化を行うことで, 未活動者への活動のきっかけづくりや, やりたいことを繋ぎやすくするシステムを市社協内で構築

- ・住民座談会, テーマ型福祉活動への参加者を「福祉委員」や「気くばりさん」登録につなげ, 活動の機会を積極的かつ具体的に情報提供していく

「できるひとが, できるときに, できること」を

# 地域福祉コーディネーター

わたしたちは

“ひとりぼっちをつくらない!”  
地域づくりを進めます

高知市社会福祉協議会

地域福祉  
コーディネーター



高知市社会福祉協議会では「地域福祉コーディネーター」を配置し、地域の福祉に関する相談に対応しています。

地域福祉コーディネーターは、今ある福祉サービスでは対応が難しい課題や、自分自身の悩みのほかに、家族の悩みなど複合する問題について共に考え、解決に向けて取り組む福祉の専門職です。

どこへ相談すればよいかわからない悩みごとや困りごとがありましたら、まずご相談ください。様々な専門機関や地域の皆さん、各種団体等と協力し、地域全体で支援するネットワークをつくるだけでなく、地域で誰もが安心していきいきと暮らせる支え合いのあるまちづくりを進めます。

たとえば

ご近所のこと



- 様子の良くなる人がいる
- ご近所の家財道具が外まで溢れている
- これって家内暴力?虐待?

どこに相談したら?



- 話だけでも聞いてほしい...
- 引っ越してきればかりで地域のことが分からない

子どものこと



- 子育てに不安がある
- 子育てサロンや地域交流サロンについて知りたい
- 近所の子どもの様子が気になる

福祉の各種制度やサービスを  
知りたい



- 認知症のことで相談したい
- 家事や外出の手伝いをしたい

地域で何かしたい



- ボランティアをしたい
- 自分にできることを地域で話したい
- 誰か手伝ってくれる人はいないかな

日々の暮らしのこと



- 今後の生活が不安
- お金に困っている
- 失業して生活が苦しい

こんな場合はお気軽にご連絡ください

裏面へ

東部	南街・北街・下知 三星・五台山・高須 布師田・大津・介良	 土居	 中村	 山本	 田岡
西部	旭・朝倉 鴨田・初月・鏡	 道脇	 上岡	 高山	
南部	潮江・長浜・御臺瀬 浦戸・春野	 今村	 平岡	 市川	
北部	上街・小高坂 高知街・江ノ口東 江ノ口・一宮 秦・土佐山	 馬場	 森岡	 小笠原	 永野

ボランティアセンター担当：市川・山本・上岡

<お問い合わせ>



社会福祉法人 高知市社会福祉協議会 地域協働課

T:780-0870

高知市本町4丁目2番40号  
ニッセイ高知ビル 3階

TEL:088-856-5539

FAX:088-856-5549

E-Mail  
chikifukushi@kochi-csw.or.jp  
ホームページ

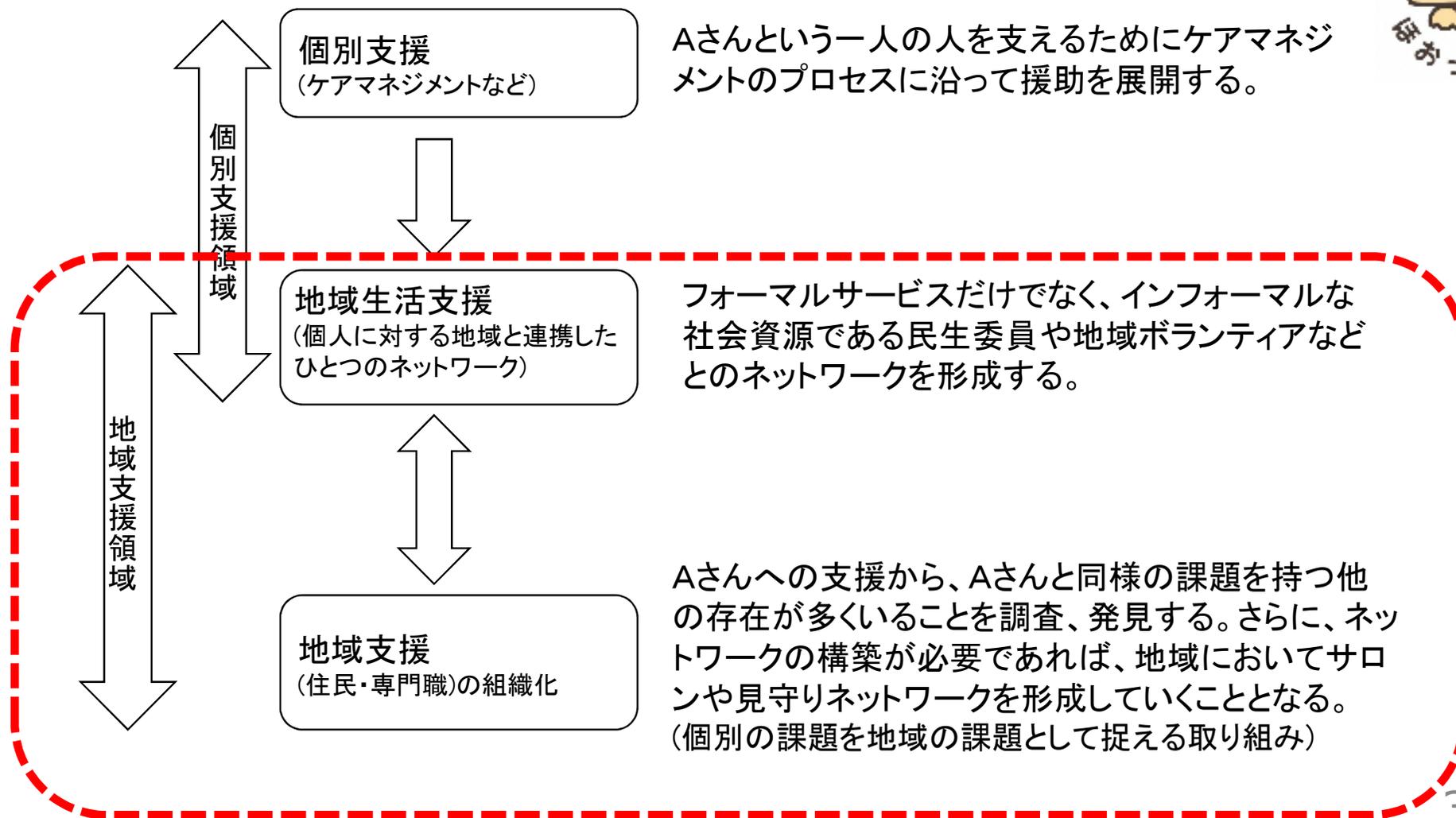


高知市社協 検索



ほおっちょけん  
(高知市社会福祉協議会)

# 地域福祉コーディネーターの地域へのアプローチ



## 地域福祉コーディネーターの活動

### 「知る・気づく」

#### アウトリーチによる地域の調査・情報収集・診断

- 地域で出向いている先: ①地域の活動団体(会長及び役員, 会議等の集まり)  
②住民福祉活動(集いの場, 各種行事)  
③ボランティア団体(NPOなど)  
④社会福祉施設等(高齢者・障がい・児童)  
⑤医療機関  
⑥生活関連機関(スーパー, ドラッグストア等)  
⑦行政, 教育委員会  
(地域づくりを目的とした各種施策及び部署との連携)

#### 情報の整理・分析・検討

##### ●地区カルテの作成

- ①「圏域ごと(小学校区域を中心に)のキーパーソン及び各種施策の整理」  
「分野別の取り組み整理」
- ②統計的なデータを分析

##### ●課題分析及び地域活動活性化に向けた検討

検討会を開催(定例及び随時)し, 課題への対応方法及び地域へのアプローチについて協議

### 「つなぐ」

「知る・気づく」の「地域に出向いている先」からの相談及び関係機関等からの相談に対応している。  
●「人⇔人」「人⇔活動」「人⇔機関」「活動⇔機関」「活動⇔活動」「機関⇔機関」等

### 「つくる」

- 出会い・連携・協働・協議の場づくり
- 地域での具体的な取り組み展開に向けた「提案」



# 地域福祉コーディネーターの障害分野での取り組み(一部抜粋)

## ◆てく・とこサロン誕生

障害者支援施設の地域交流スペースを活用し、住民と障害のある方が出会い、交流する場となっています。



## ◆障害のある人にも役割、出番を♪

～“気くばりさん”ボランティアが、いき百歳体操運営支援～

高知市社協に登録している“気くばりさん”ボランティアが、高齢の百歳体操のお世話役の苦手な名簿管理を得意のパソコン技術を活かして、運営のお手伝いを行っています。障害のある“気くばりさん”の役割づくり(用事づくり)につながっています。



誰もが安心していきいきと暮らしていける地域・まちづくりのために...



地域福祉コーディネーターは、住民活動の「黒子」

- ・住民の地域への関心や支え合う心をつくる(福祉教育)
- ・多様な人や組織・機関がつながるきっかけづくり(つながりづくり)
- ・多様な人や組織の出会い・協議の場を活性化する(協議の場のファシリテート)



地域で生活課題を抱えた方の課題解決に向けて連携をしています

### 高知市社会福祉協議会(ニッセイ高知ビル)

共に生きる課 29名

高知市生活支援  
相談センター

相談員6名(正職)  
うち、社会福祉士  
精神保健福祉士  
社会福祉主事

成年後見サポート  
センター事業

日常生活自立支援事業

生活福祉資金貸付事業

障害者相談支援事業

同一フロア  
計 48名

連携

地域協働課  
19名

うち、地域福祉コー  
ディネーター14名

# 相談支援事業所と地域福祉コーディネーターの連携♪

## 「知る・気づく」

- ・個別相談、個別支援会議から抽出された地域課題
- ・自立支援協議会
- ・障害者計画推進協議会

情報の整理・分析・検討



## 「つなぐ」

- 地域での役割(気くばりさん、笑顔マイレージ)の創出
- 集いの場、話し合いの場等の紹介
- 住民主体サービスの紹介

☆「人⇔人」「人⇔活動」「人⇔機関」「活動⇔機関」「活動⇔活動」「機関⇔機関」等

## 「つくる」

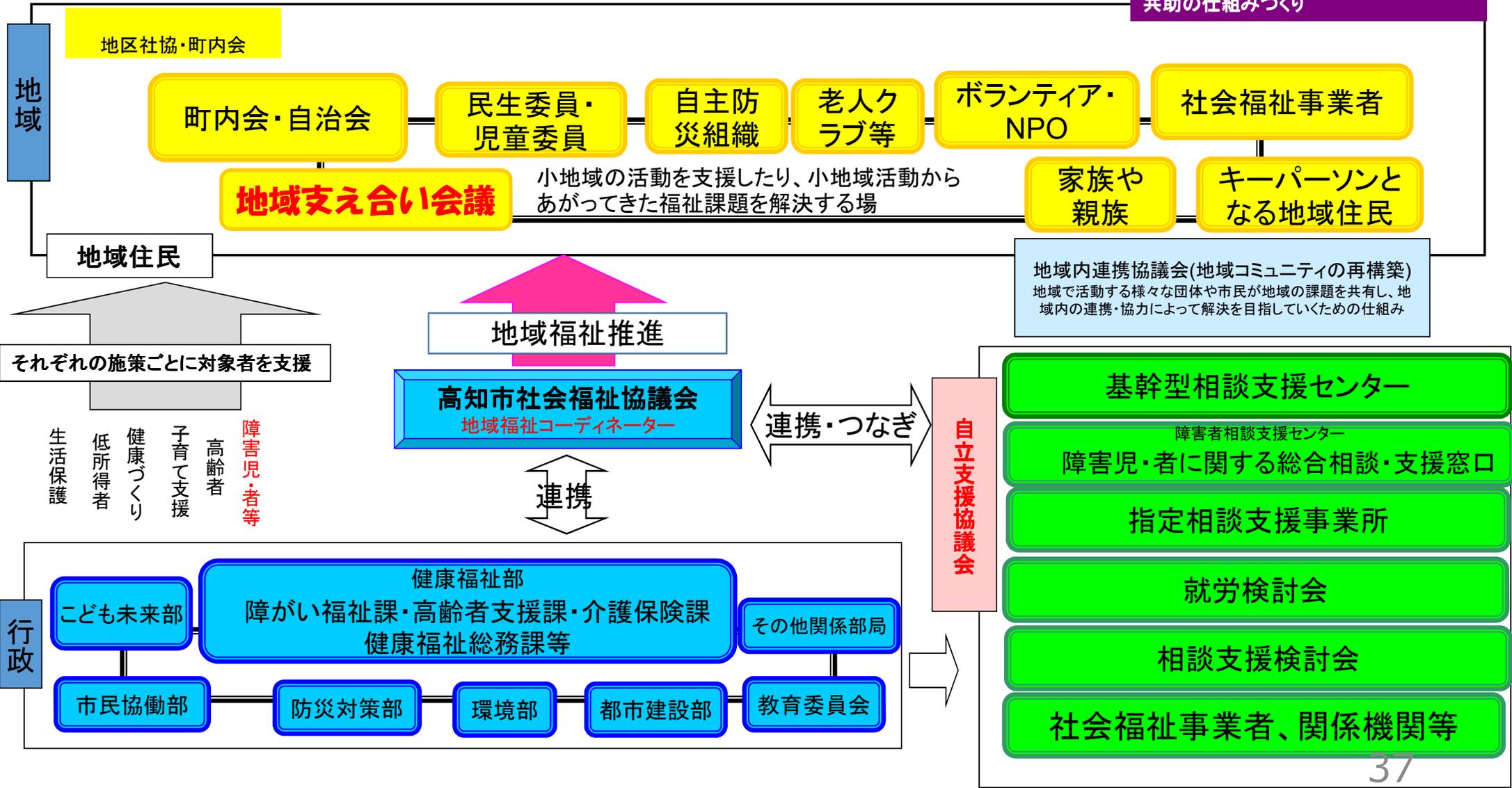
- 住民の組織化 (例、脳卒中当事者の会)
- 交流の場、見守りの仕組みづくり
- 啓発、学習の場づくり(福祉教育、ほおっちょけん学習)

☆地域での具体的な取り組み展開に向けた「提案」  
☆出会い・連携・協働・協議の場づくり



# 自立支援協議会と地域福祉コーディネーターの連携のイメージ

地域の見守りネットワークの構築  
共助の仕組みづくり



おたがいさまの住民意識づくり(きっかけ)

福祉は特別なことではなく「ほおっちょけん」思いから始まる…  
その思いから誕生した『ほおっちょけん』

ワン

あいさつや助け合いのはじまりは  
「気持ちを声に出してみよう」

アンテナ

一人ひとりがアンテナ役となっ  
て「困っている人を  
一人ぼっちにしない」

ハナ

小さな困りごとでも発見で  
きる「とってもよく利くハ  
ナ」

手

お手伝いができる「ま  
かせ手」  
手伝ってと言える「た  
すけ手」



ほおっちょけん

誰かひとりにしんどいことを  
「まかせっきりにしない」

「ひとりの100歩」より「100人の1歩」を！



社会福祉  
協議会

地域の  
活動団体  
個人

NPO法人  
等

医療機関

その他の  
社会福祉法人



住民  
福祉活動

共生社会

行政  
(障がい福祉  
課等)

学校

企業

ボランティ  
ア団体